# パス停からの

### あい愛バス 文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します

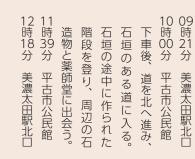
参道で存在感を放つ石幢

りの場であり、心のよりどころだったのです。 具を持ち、柔らかな表情をたたえています。 めに造られたものなのでしょう。6体の地蔵 は妙鉢(葬儀で使われる楽器)やお鈴などの仏 る石造物は、死者の冥福を祈り、供養するた 墓地であったと考えられ、石幢をはじめとす 【参考】市教育委員会「美濃加茂の石仏(1988)」 古くからこの一帯は地域の人々の大切な祈 この場所は、以前は引導場と呼ばれる共同

## 30「平古市公民館(ほたる線)」から

常に少なく、時代的にも貴重なものです。 域で多く造立されたものの、中濃地域では非 享元(1684)年に造立され、人の背丈を超 わ目を引くのが、参道の途中にある灯籠形の が表されています。石幢は近世以降、東濃地 える大きさで、火をともす部分には六地蔵 石造物。「石幢」と呼ばれるこの石造物は、貞 くの石造物が点在しています。中でもひとき (六道の思想に基づき人々を救う6体の地蔵) 三和町川浦にある薬師堂の付近には、数多

がまつられています。 681)年に作られた市内最古の石像薬師仏 また、本堂脇の厨子の中には、延宝9(1





トタン造りの薬師堂。 右奥にも石仏が見える



### 今回乗車したバス

行き:ほたる線

帰り:ほたる線 Aコース3便

Bコース4便